

名尾和紙に恋して

佐賀の大和で出会った名尾手漉和紙。
その手作りの風合いが伝わる作品を紹介していきます。

2011年11月15日

名尾手漉和紙とは…

カテゴリ：和紙について

平安時代の「延喜式」に紙の原料の上納国として記された佐賀。

実際に製紙を始めたのは江戸時代でした。

佐賀市大和町の名尾には、元禄時代に製紙技術が伝わり、
納富由助が村民に製紙法を教えることで広まりました。

今では、自然に恵まれた山里の中、谷口 進氏ただ一人が
300年の伝統を守り続け、コウゾ皮を原料に昔ながらの手漉きで
和紙を生産しています。

名尾手漉和紙は、質が緻密で粘り強く、光沢があり
耐久性に優れているのが特徴です。

特に、提灯紙は油をよく吸収し、
絵筆が滑らかに走る、と高く評価されています。
また、ラッピングペーパーや障子紙、レターセットなど様々な商品が、
用途に応じて作られています。

最近では、ハーブを使うことによって香りのいい和紙も開発されたり、
現代風のインテリア用品にも活用されています。

手作りの風合いが伝わる名尾手漉和紙は、
県の重要無形文化財に指定されています。

Posted by 名尾和紙 at 00:00 | [Comments\(0\)](#) | [TrackBack\(0\)](#) |

≤ 2011年11月 ≥

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

カテゴリ

- [和紙について\(3\)](#)
- [製作過程\(3\)](#)
- [徒然記\(3\)](#)
- [その他\(3\)](#)

最近の記事

- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)
- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)
- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)
- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)
- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)
- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)
- [名尾手漉和紙とは…\(11/15\)](#)

2011年11月15日

名尾手漉和紙とは…

カテゴリ：和紙について

平安時代の「延喜式」に紙の原料の上納国として記された佐賀。

実際に製紙を始めたのは江戸時代でした。

佐賀市大和町の名尾には、元禄時代に製紙技術が伝わり、
納富由助が村民に製紙法を教えることで広まりました。

今では、自然に恵まれた山里の中、谷口 進氏ただ一人が
300年の伝統を守り続け、コウゾ皮を原料に昔ながらの手漉きで
和紙を生産しています。

名尾手漉和紙は、質が緻密で粘り強く、光沢があり
耐久性に優れているのが特徴です。

特に、提灯紙は油をよく吸収し、
絵筆が滑らかに走る、と高く評価されています。
また、ラッピングペーパーや障子紙、レターセットなど様々な商品が、
用途に応じて作られています。

最近では、ハーブを使うことによって香りのいい和紙も開発されたり、
現代風のインテリア用品にも活用されています。

手作りの風合いが伝わる名尾手漉和紙は、
県の重要無形文化財に指定されています。

Posted by 名尾和紙 at 00:00 | [Comments\(0\)](#) | [TrackBack\(0\)](#) |

過去記事

- [2011年11月](#)
- [2011年10月](#)
- [2011年09月](#)
- [2011年08月](#)

アクセスカウンタ

Total : 5000
Today : 100
Yesterday : 150

[次ページ >](#)